

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」三条校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		お客様の状況・状態に合わせたスペースの配慮を行っています。	法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	4		お客様と指導員の1対1の支援を徹底しています。	1対1の個別支援を提供している為1人のお客様に対して指導員1人が関わるよう配置を行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		お客様の特性に合わせ、多角的な視点から支援空間の配慮を行っています。	お客様の安全に配慮した支援環境を整えております。また支援道具も消毒・安全点検を毎日行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日の清掃・消毒、支援の切り替えの時の消毒も行っていきます。	毎日の清掃・支援教材の消毒の徹底、危険個所がないかの点検も行っております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		日次の振り返り・情報共有を行っています。	日次・週次で情報共有・ケース会議を開き、個々・事業所全体で統一した目標設定を行っております。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		支援後のフィードバックにて保護者の方と情報共有を行っています。	保護者からのご要望・情報などは事業所間で共有・検討し、支援の質の向上・改善に活かしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			職員・保護者に記入頂き、ホームページにて公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	社内・保護者の二者評価を行っています。	個々のお客様の状況に応じて必要があれば支援計画に位置付けたうえで実施致します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		一か月の初任者研修・年間でも順次研修を実施しています。	継続した研修を行い、個々のスキルアップを図っています。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			計画期間ごとにアセスメントを実施し、計画を策定しています。また統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			計画期間ごとにアセスメントを実施し、計画を策定しています。また統一したアセスメントシートを使用しています。

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		お子様の状況・特性に合わせた支援プログラムを設定しています。また支援後にフィードバックの時間を設け、必要時では個別で相談対応を行っています。	保護者の方に分かり易い提示内容・方法を事業所で検討していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			個々のお子様個別支援計画を策定し、それに沿った支援を提供しています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		ケース会議を定期的に行い、支援内容の経過を確認しています。	質の向上を図る為、今後も定期的にケース会議を行ってまいります。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		支援内容がマンネリ化しないよう、指導員を固定せず、様々な指導員との支援での関りを行っています。	ケース会議を行う中で支援に対して方向性の確認を行っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4			事業所全体での振り返り・アセスメントを元に、優先順位をつけて短期目標と長期目標を設定し計画を策定しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼・終礼を実施し、情報共有・確認を行っています。	継続して情報共有を行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		朝礼・終礼を実施し、情報共有・確認を行っています。	朝礼・終礼を実施し、情報共有・確認を行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		支援計画を都度作成し、事業所間でも確認を行う事で共有しています。必要時にケース会議にて検討し改善を図っています。	事業所間での確認・検討を継続して行い、包括的な支援を行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		担当指導員と定期的モニタリングを行い、状況を見て見直しを行っています。	事業所間での検討も行い、必要に応じて見直しを行います。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			お子様の支援に担当制は取っておりませんが、すべての指導員がお子様の状況を把握し、チームでの支援を行っています。会議には児童発達支援管理責任者と指導員1名で参加する事が多くなっています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			各担当市区町村も含め、学校、他事業所、相談支援事業所とも必要時に情報共有を行っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4		医療スタッフが従事していない為、医療的ケアが必要なお子様のお受け入れはしておりません。必要時には医療機関も含めたご意見を基に慎重に判断していきます。

	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		医療スタッフが従事していない為、医療的ケアが必要なお子様のお受け入れはしておりません。必要時には医療機関も含めたご意見を基に慎重に判断していきます。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		必要時に応じて連絡を行い情報共有を行っています。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		必要時に応じて連絡を行い情報共有を行っています
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		外部専門家による研修や研修に行った指導員から事業所内で共有する機会を作っています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		地域交流については、限られた支援時間の中での実施が難しいことから、参加できておりません。個々のお子様の状況に応じて、必要があれば計画に位置付けた上で実施を検討します。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4		関係機関との会議へは積極的に参加しています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		支援後のフィードバックにて保護者の方と情報共有を行っています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		支援後のフィードバック時に困り感などご相談を伺い、適時アドバイスをしています。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		運営規定、利用者負担について、分かり易く、かつ丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援内容については、個別支援計画の提示、面談時にご説明するとともに毎回の支援後に保護者の方とのフィードバックの時間を設けています。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		具体的な支援内容については、個別支援計画の提示、面談時にご説明し、同意を得ています。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。場合によっては別途相談の機会を設けています。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		感染症の状況を見ながら保護者間での共有の会を開催しています。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。場合によっては別で相談の機会を設けています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			教室内に活動内容やイベント内容を掲示しています。またホームページやSNS等を活用し発信しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4			個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行っています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			お子様・保護者の方の要望・状況に応じて、ICTやその他視覚的情報を活用して意思疎通・情報伝達等を実施しています。また、合理的な配慮に関するハンドブックを作成するなど、合理的配慮の推進についても尽力しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		教室によっては指導の様子を公開したり、教室解放の時間を設けています。	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			マニュアルを策定し、適時研修を実施しています。
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			月1回の避難訓練を実施しています。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			面談時に病歴、服薬状況をお伺いしています。	
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			全てのお子様にアレルギーの有無についてお伺いしています。支援時に該当物質との接触が起こらない様留意しています。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒヤリハットが起きた際には報告書を作成・保管し事業所内で共有し、再発防止に努めています。	
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			マニュアルを作成し、適時研修を行っています。	
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			マニュアルを策定し、適時研修を行っています。保護者の方へは契約時に説明を行い、計画の特記事項にも記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 三条校 保護者等数（児童数）：7 回収数：6 割合 86 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6					お子様一人に対して指導員1名を配置し、支援提供しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6					視覚的な配慮・安全面の配慮を行い、必要時に合わせたスペースを確保しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					支援の切り替えごとに消毒を行い、毎日の清掃等で環境美化に努めています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6				丁寧に説明してもらえるので分かり易い。	達成できる課題を明確に提示し分かり易く、見通しが持てる計画を策定しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6					個別支援計画に沿った形でスモールステップで取り組める内容を明確に提示しています。フィードバックでの保護者の方のご意向も踏まえて内容を設定しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					個々のお子様へ個別支援計画を策定し、それに沿った支援を提供しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				いつも子どもが楽しく飽きずに取り組んでいる。	マンネリ化せず、お子様の興味事を通して、楽しんで取り組める支援内容を日々模索し提示を行っています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			3	3		状況に合わせて関係機関との情報共有を行い、包括的な支援を行います。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				分かり易く説明してもらえた。	ご理解頂けるよう伝え方も含めて分かり易い説明を心掛けています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6					

明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6				困った時に別で相談を聞いてくれて助かります。	フィードバックや必要に応じて個別での相談を行っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6					フィードバックを通して情報共有を行い、共通理解ができるよう努めています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6					フィードバックを通して情報共有を行っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6				保護者会を開催してくれてありがとうございます。	感染状況を注視しながらご要望に応じて開催していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					保護者の方に分かり易い説明を心掛けています。相談時は迅速に見直し対応できる体制を整えています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					フィードバックを通して情報共有を行っています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6					普段の活動やイベント内容などをホームページ・SNSを通じて発信しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6					個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行っています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6				このご時世でしっかりと検温して頂けて安心です。	マニュアルを策定し、適時研修を実施しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			4		ご利用時間が異なる為、個々に行っておりますが、全体訓練も都度実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6				工作イベントなど時期に合わせた内容で次は何か？と楽しみにしています。	通常支援・イベントなど通所意欲が高まるよう内容も配慮し、提供しています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6				真剣に親の話に耳を傾けてもらえる場所はあまりないので嬉しいです。	全ての保護者の方にご満足いただけるような支援を心掛けています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。